



「大阪・関西万博（Expo 2025）」開幕記念 北斎博覧会－珍品・逸品大集合!!－

島根県立美術館では、4月23日（水）より『「大阪・関西万博（Expo 2025）」開幕記念 北斎博覧会－珍品・逸品大集合!!－』を開催いたします。

55年前の1970年3月、「人類の進歩と調和」をテーマに掲げた日本万国博覧会（大阪万博）が開幕しました。会場中心の一角に「万国博美術館」が建設され、期間中、世界各国の美術品を一堂に集めた「万国博美術館展」が開催されました。同展で日本美術の「浮世絵」を代表して展示されたのが、葛飾北斎の《富嶽三十六景 凱風快晴》（通称「赤富士」）でした。同図は版画のため複数残存しますが、保存状態が良く、北斎の造形意図を反映した初期の希少な摺（すり）である、新庄二郎氏（松江市出身・1901-1996）所蔵の「赤富士」が、世界の名画名品と並んで展示されたのです。

後にこの「赤富士」を含む「新庄コレクション」は島根県へ譲渡され、以降、当館は北斎作品の収集に努めてきました。そして2017年、北斎研究の第一人者・永田生慈（ながたせいじ）氏（津和野町出身・1951-2018）から、北斎に特化した「永田コレクション」（約2,400件）の寄贈を受けたことで、当館は国内外でも有数の規模を誇る、北斎コレクションの所蔵館となったのです。

本特集展示では、「大阪・関西万博（Expo2025）」の開幕を記念し、55年前の大阪万博に出品された「赤富士」をはじめとする当館自慢の“逸品”、現存数が少ない“稀観品（きこうひん）”、世界でもここで見られない“珍品”の数々をご紹介します。当館による、当館だけの、世にも珍しい「北斎博覧会」を、どうぞご堪能ください。

展覧会名：『「大阪・関西万博（Expo 2025）」開幕記念 北斎博覧会－珍品・逸品大集合!!－』

会 期：2025年4月23日（水）～5月26日（月）

休 館 日：火曜日（ただし4月29日、5月6日は開館）

観 覧 料：一般300円 大学生200円 小中高生無料

会 場：島根県立美術館2階「北斎展示室」

時 間：10：00～日没後30分（展示室への入場は日没時刻まで）



葛飾北斎《富嶽三十六景 凱風快晴》
島根県立美術館蔵（新庄コレクション）

出品作：初摺（しょずり）の逸品、版画ながら世界で1点または数点しか知られていない稀観品、
世界で現存唯一という珍品など 46点 を展示



葛飾北斎《新板おどりゑづくし》
島根県立美術館蔵（永田コレクション）

北斎が「春朗」と名乗っていた画業初期に描いた作品。子供が遊ぶための「おもちゃ絵」の作例は北斎としては珍しく、**蔦屋重三郎（初代）との提携作**としても貴重です。版画の作品ですが、現存が世界で1点しか確認されていないという点でも、希少な作品です。

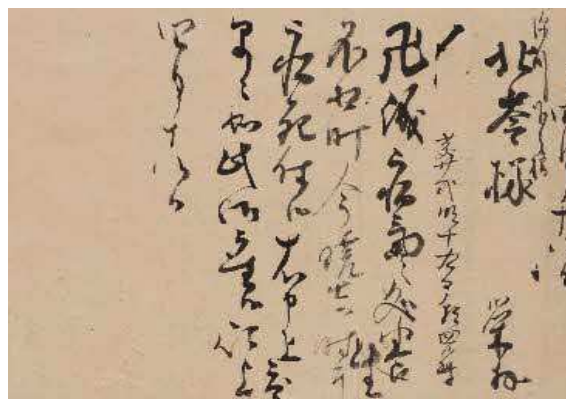


葛飾北斎《亀》島根県立美術館蔵
（永田コレクション）

北斎が「北斎辰政」へ改名し独立したことを知らせる摺物（すりもの：売り物ではなく私的目的で作成する版画）。

世界で知られる

「HOKUSAI」の名を高らかに宣言した記念碑的作品ですが、現存はわずか2点のみ。いずれも当館所蔵の「永田コレクション」です。



葛飾応為筆『北岑宛北斎死亡通知（府川家資料）』
島根県立美術館蔵（永田コレクション）

北斎が亡くなった朝、**娘の応為（お栄）**が、北斎の門人・北岑（ほくしん）に宛てて書いた「**死亡通知書**」です。北斎が亡くなった日時、死因、葬儀についてなど、北斎の死に関する詳細を記した、世界で唯一の極めて貴重な資料です。

【県 HP】

（島根創生を進めるための新規・拡充施策（令和7年度版））

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/zaisei/yosan/yosanr7/r7gaiyou.data/shinkikakujuR7.pdf>

（島根創生計画〔第2期〕）

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/index.data/souseikeikaku2nd.pdf>

島根創生計画

VI心豊かな社会をつくる

2 スポーツ・文化芸術の振興

（2）文化芸術の振興（P 8 1）



※別途、民間の配信サービスを利用し、情報発信する予定です。